

平成25年/2013

No.22
野口遵顕彰会

野口 遵

顕彰会だより



ご あ い さ つ

野口遵顕彰会

会長 清 本 英 男

晩秋の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、今年も早いもので残すところ1ヶ月余りとなりました。野口遵顕彰会の本年度事業の実施状況についてご報告いたします。中学校副読本「のべおか新興の母 野口遵」の県北27中学校への配付数は、この9年間で約16,700冊になりました。中学生の皆さんに「野口遵翁」を知ってもらうのに大いに役立っていることと思います。

『ジュニア科学者の翼』事業では、野口研究所の格別のご高配により派遣研修生の中から優秀な生徒に対して高校入学時より3年間、毎年「学修奨励金」(10万円)を贈呈しています。これまで9名の皆さんに合わせて200万円という大きな支援になっています。また、『野口賞』は2年ぶりに「産業振興奨励賞」(賞金30万円)が決まり、12月3日(火)に授賞式を行います。各事業の詳細な実施状況は別紙のとおりです。

設立時より実施してきました『ジュニア科学者の翼』事業はさらに内容の充実に努め、『野口賞』授与事業については、もっと多くの皆さんに応募していただけるよう工夫をしたいと考えています。そして、新たな事業も加えながら活動の一層の充実・発展に努めてまいります。

今後とも、皆様方の変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成25年11月

副読本縮刷版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》

野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展を知ってもらうために、中学生のみなさんに副読本「のべおか新興の母 野口遵」（冊子）の縮刷版（B6版）を毎年配付しています。今回で9回目となりましたが、延岡市、高千穂町、日之影町、門川町（2校）の各中学校および五ヶ瀬中等教育学校のあわせて27校の2年生全員に1,900冊を配付しました。



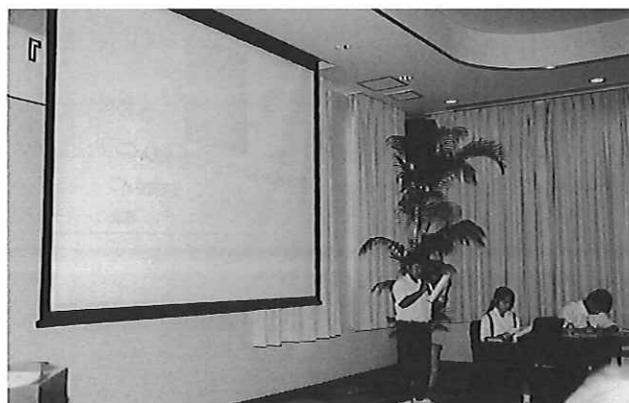
各中学校では朝の読書の時間を活用するなどして、野口遵翁を理解するのに役立っています。

なお今回の配付を含め、これまでの配付数は合わせて16,900冊に達しました。

青少年科学技術派遣研修事業

《第13回『ジュニア科学者の翼』》

科学技術への関心を高め“夢”と“ロマン”を持って21世紀で活躍する人材への成長を期待して、毎年夏休みにこの事業を実施しています。今年も7月23日（火）から7月26日（金）の3泊4日の日程で実施しました。



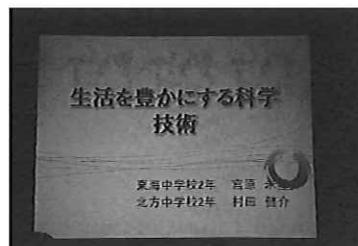
今回も12名の中学生の皆さんを派遣しましたが、関東地区にあります東芝科

学館、野口研究所、科学技術館および日本科学未来館を訪問して、最先端の科学技術や医療、情報、環境、自然、宇宙等のフロンティア開発、産業など多岐の分野にわたり研修しました。

8月6日（火）の「報告会」では、今回の研修テーマ5つの中から研修生それぞれが事前に決めたテーマ別に、パワーポイントを使ってその成果（感想を含めて）発表しました。

<5つのテーマ>

- ①物づくりに生かされる科学技術
- ②生活を豊かにする科学技術
- ③地域環境を守り良くする科学技術
- ④人類の夢、未来をつくる科学技術
- ⑤医療の発展に貢献する科学技術



研修に参加した12名の皆さんは科学への関心が一層高まったこと、「科学」をより身近に感じるようになったこと、社会の発展にこれからはますます科学技術が必要なこと・・・などその成果を力強く発表し、今回の体験を将来に生かしていきたいと報告しました。

新しい科学技術分野を切り開いていく、世界的に高いレベルの日本の科学技術や研究者に触れることができたことは、参加した生徒の皆さんの発想を豊かにし、将来の夢、目標の指針として大いに役立ったことと思います。

今回『ジュニア科学者の翼』に参加した皆さんの中から、「学修奨励金」授与者（第9回）に、延岡中学校2年生 松浦叶子さんと岡富中学校2年生 甲斐滉矢くんの2名が決まりました。二人には、書籍や教材費の一助として「学修奨励金」が、高校入学時から高校在学の3年間、毎年5万円が野口研究所から授与されます。



『ジュニア科学者の翼』に参加した生徒および学校名（男子6名：女子6名）

氏 名	学 校・学 年	氏 名	学 校・学 年
松 浦 叶 子	延岡中学校2年生	甲 斐 滉 矢	岡富中学校2年生
宮 原 未 早	東海中学校2年生	岩 本 武 士	西階中学校2年生
田 島 梨 央	黒岩中学校2年生	村 田 健 介	北方中学校2年生
木 津 美 空	島野浦中学校2年生	濱 田 裕 太	北浦中学校2年生
甲 斐 万 柚子	日之影中学校2年生	橋 本 貴 努	北川中学校2年生
倉 橋 明 甫	西門川中学校2年生	児 玉 尚	聡明中学校2年生

※引率 山之内 秀典 延岡市教育委員会 学校教育課指導主事

＜参加した生徒と保護者の感想＞

◇僕は、小学生の頃から行きたいと思っていた『ジュニア科学者の翼』に参加することができて、本当にうれしかったです。東京の研修では初日からゲリラ豪雨にいましたが、どこの施設も今まで本などでしか見たことのなかったものを直に見たり、体験することができました。また、今まで知らなかった技術もたくさんあることも分かりました。

「報告会」の準備は少し大変でしたが、このような貴重な体験をさせていただいて本当にありがとうございました。11月には学校の「文化発表会」で、今回の成果を発表する予定です。学校みんなにこの感動を伝えたいと思います。

これからもっともっと興味を持ってたくさんの方のことを学んでいきたいと思っています。

(岡富中学校2年 甲 斐 滉 矢)

◇この度、この『ジュニア科学者の翼』に参加させていただき本当にありがとうございました。私達では体験させることのできない貴重な体験をとおして本人には一生の思い出になったことと思います。

また、「報告会」では子ども達の探究心の高さや成果の大きさが伝わってきて大変感動いたしました。この体験を活かしてさらに科学への関心を高めて欲しいと思います。

(甲斐滉矢さんのご両親)

第13回『野口賞』授与事業

《「産業振興奨励賞」(賞金30万円)を授賞!!》



第13回『野口賞』に3件の応募がありました。選考委員の皆様による慎重かつ厳正な審査の結果、株式会社 宮防 代表取締役 村社 勝 様ご応募の『遮熱塗料の性能を最大限に活用した異業種における暑熱問題の解決』が「産業振興奨励賞」(賞金30万円)に決定しました。

授賞式は12月3日(火)17時からホテルメリージュ延岡にて行います。なお、今回応募のありました3件は次のとおりです。

1. 株式会社 宮 防 (宮崎市大字田吉1886番地)
代表取締役 村 社 勝 様
＜応募テーマ＞ 『遮熱塗料の性能を最大限に活用した
異業種における暑熱問題の解決』
2. 宮崎県畜産試験場 (西諸県郡高原町大字広原5066番地)
家畜バイテク部 代表者 家畜バイテク部長 中 原 高 士 様
＜応募テーマ＞ 『暑熱環境が乳用牛へ及ぼす影響の解明と
暑熱対策に関する研究』
3. 有限会社 長友工務店 (東諸県郡国富町大字三名4456-13)
代表取締役 長 友 仁 様
新製品開発部長 長 友 光 雄 様
＜応募テーマ＞ 『介護用具 移乗移動器具』

第5回「野口遵翁とカザレー博士」顕彰祭

《一未来に語り継ぐ会一》

10月5日(土)16時30分から、延岡市 首藤市長、延岡市議会 小田副議長をはじめ35名の皆さんの出席のもと、あいにくの雨天のため銅像前から旭化成向陽倶楽部に変更して、野口遵翁とカザレー博士の写真の前で献花を行い二人の功績に感謝しました。



その後、バスでベンベルグ工場へ移動し、綿花の種子を包むうぶ毛(コットンリントー)を原料とした再生セルロース繊維キュプラ(商品名ベンベルグ)の製造工程について説明を受け、引き続いて工場内の設備(連続紡糸工程と増設工事中の建屋)を見学しました。このベンベルグ工場は現在世界でこの延岡にしかありません。

そして、向陽クラブに移って懇談会を行いました。なごやかな雰囲気の中で「今日の延岡市の発展があるのは、まさに野口遵翁とカザレー博士の功績があったこと」をあらためて偲びました。



野口遵翁は大正12年(1923年)、当時鉄道も通っていなかったこの延岡にカザレー式アンモニア合成工場を建設し、その後ベンベルグ工場、レーヨン工場などの工場を次々と建設して、「工業都市 延岡」発展の基礎を築かれました。

ました。

また、カザレー博士はこのアンモニア合成法の発明者で、運転開始に伴いイタリアから来延・滞在して直接指導にあたり、この年の10月5日、日本で初めての合成アンモニアの誕生に大変尽くされました。この合成アンモニアが誕生した10月5日を、この延岡が近代工業都市への夜明けとなった記念すべき日として、二人の偉大な功績を顕彰してこの「顕彰祭」を開催しています。今回で5回目の開催となりました。

野口遵顕彰会では、今後もこの記念すべき10月5日にこの「顕彰祭」を開催して、二人の偉業と功績を後世に伝えていきます。

第3回『ジュニア科学スクール』

《“電気と光のしくみ”について学習し、実験を楽しむ!!》

昨年からは新しい事業として小学校5・6年生を対象に、実験を通して科学技術への関心を高め楽しみながら学習する機会とする第3回『ジュニア科学スクール』を、8月21日(水)サンボウル内“こどもーる”において市内の小学校4～6年生12名が参加のもと、“こどもーる”を運営するアレーテライフイノベーション社との共催により開催しました。



今回は、備長炭、食塩水、アルミホイルと電池を使って、アルミニウムが食塩水に溶け、備長炭が含む酸素とで電流が発生することを学習し、そのことをLEDの豆電球が点くことで確かめました。また、電子部品を使った光センサーと“ちょこまカー”を組み立て、“ちょこまカー”の光センサーが紙に書かれているラインを感知しながら走ることを楽しみました。参加した生徒の皆さんは「ちょっと難しかったけど面白かった!!」と感想を話していました。

今年度はこの「ジュニア科学スクール」をあと3回開催したいと考えています。

ご意見・ご提案について (お願い)

野口顕彰会活動や取組み事業に対するご意見・ご提案をお聞かせください。事業計画や活動に生かしていきたいと思えます。下記事務局までお電話、あるいはFAXにてお気軽にお寄せください。よろしくお願いいたします。

「賛助会員」募集について (お願い)

野口遵顕彰会では「賛助会員」を常時募集しています。当顕彰会の趣旨・目的にご賛同くださる皆様のご入会をよろしくお願いいたします。

賛助会費は、

(法人) 1口 1万円/年間 : (個人) 1口 1,000円/年間

※何口でも結構です。

ご入会を希望される方がいらっしゃいましたら、お手数ですが下記までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします。

●連絡先

野口 遵 顕彰会 事務局

〒882-0824

宮崎県延岡市中央通り3-5-1 (延岡商工会議所内)

TEL (0982) 33-6666

FAX (0982) 33-6682



ホームページを開設しています。事業の実施状況をはじめ『最新情報』を掲載しています。どうぞアクセスしてみてください。

<ホームページアドレス> <http://www.wainet.ne.jp/~noguti-k>